

厚岸町海事記念館通信

発行 厚岸町海事記念館

〒088-1151 厚岸郡厚岸町真栄3丁目4番地

TEL & FAX 0153-52-4040

edu.town.akkeshi.hokkaido.jp/kaiji

No.57

2019年2月発行

厚岸町海事記念館こどもクラブ

だより

- 6月……カヌー体験
- 7月……「ぱたぱた」作り
- 8月……オーロラ映像鑑賞
- 9月……松浦武四郎の足跡を辿る
- 10月……ほしぞら教室
- 11月……スピーカー作り
- 12月……クリスマスリース作り

毎月、いろんな体験ができて、みんな元気いっぱいだね！



海事記念館マスコットキャラクター
かいじくん



受け継がれていく伝統「厚岸かぐら」を披露

今年度は、障害者（児）ふれあいフェスティバル「こう福祉21」などで「厚岸かぐら」を披露しました。舞を披露したのは、厚岸かぐら同好会長畠山竹士氏の指導のもと練習してきた「厚岸かぐら少年団」の他、少年団をすでに退団してからも「また踊りたい」という思いから協力してくれたOBのみなさんでした。

また、11月18日（日）に、「厚岸かぐら」を継承し、町民文化祭などで舞を披露している、厚岸かぐら少年団の団員に対し、今までの継承・普及活動を賞して厚岸かぐら保存会より表彰状が贈呈されました。

募集中

厚岸かぐら少年団では、小学生から高校生までを対象に団員を随時募集しています！

伝統芸能をお兄さんやお姉さん、友達と一緒にみんなで踊ってみませんか？

入団を希望するお友達は、海事記念館までご連絡ください。



祝!「蝦夷三官寺」が北海道遺産選定

厚岸の国泰寺が「蝦夷三官寺」として北海道遺産に選定されました。

北海道遺産は、次の世代に引き継ぎたい北海道民の宝物を守り・育て・活用することを目的に、1997年に「北海道遺産構想」としてスタートしました。

このたび第3回北海道遺産選定で15件のうちの1つに「蝦夷三官寺」が選定され、11月1日（木）の北海道遺産授与式に若狭町長が出席しました。

「蝦夷三官寺」とは、江戸幕府によって1804年に建立された3つの寺院、ウスの善光寺（伊達市）・シャマニの等澍院（様似町）・アッケシの国泰寺（厚岸町）の通称です。各寺は鎖国状況下において、蝦夷地への諸外国の侵入を防ぎ国家の安全を祈願する役目のほか、本州などから移り住んできた人を弔う目的や、先住民族であるアイヌ民族へ仏教を広める役割も担っていました。



～北海道遺産選定記念企画展を開催します～

「蝦夷三官寺」の北海道遺産選定を記念して、企画展「蝦夷三官寺～国泰寺～」を開催します。国泰寺の歴史について紹介するほか、期間中には講演会も実施しますので、「蝦夷三官寺」と「国泰寺」について詳しく知ることができます。

企画展「蝦夷三官寺～国泰寺～」

期 間 2月1日（金）～3月3日（日）

会 場 海事記念館

入館料 企画展のみの観覧は無料

講演会「『日鑑記』に見る異国船来航」

日 時 2月16日（土）10：00～12：00

会 場 海事記念館

講 師 海事記念館 学芸員 熊崎 農夫博 氏

入館料 無料

申 込 2月14日（木）

☆プラネタリウム2月の投映予定☆

2月のプラネタリウムは、冬の代表的な星座や日本の宇宙探査機について紹介します！

また、2月からは土・日・祝日の午後1時半からの投映では、冬の星座の紹介のほか、「アイヌ民族星ものがたり」（シナリオ監修・ナレーション協力：紙芝居サークル「うてうての会」）を投映します。

平日 15:30 冬空に瞬くダイヤモンド！
宇宙を調べる日本の探査機たち

土日祝 11:00 平日と同番組
13:30 冬空に瞬くダイヤモンド！
アイヌ民族星ものがたり
15:30 平日と同番組

満天の星空を満喫しました

10月11日（木）に、太田小学校のグラウンドで「秋のほしぞら教室」を開催しました。当日は、釧路市こども遊学館スタッフの他、町内ボランティアの方が移動天文車「カシオペヤ号」や天体望遠鏡を使って、火星や天王星、はくちょう座の二重星アルビレオなどの様々な星を観測しながら、星の解説をしてくれました。実施前には小雨が降り実施できるか不安でしたが、満天の星を見ることができました。



絵本の朗読とリコーダーに耳を傾けて

12月14日（金）に、プラネタリウムクリスマスコンサートを実施しました。当日はリコーダーアンサンブルグループ「OH∞(オーエイチエイト)」の演奏と、情報館職員による『サンタクロースっているんでしょうか』の朗読が行われ、お客さんの耳を楽しませてくれました。絵本の内容は、アメリカの実話で8歳の子供が新聞社に出した「サンタクロースっているんでしょうか？」という質問に対しての社説です。いったい新聞社は何とこたえたのでしょうか？

また、OH∞はクリスマスの定番ソングをはじめ全4曲を、リコーダーの優しい音色で奏でて、朗読との素敵なコラボレーションを届けてくれました。



☆願いをかなえるプラネタリウム☆

プラネタリウム室を自由に使えるとしたら…あなたは何をしたいですか？

海事記念館では、『願いをかなえるプラネタリウム』と題し、プラネタリウム室の貸し切りの権利を応募者の中から選考して1名または1グループにプレゼントします。大切な人へのサプライズ、鑑賞会などプラネタリウムで素敵な時間を過ごしてみませんか。

- 募集期間／2月1日（金）から3月15日（金）
- 実施可能期間／2019年4月2日（火）から2020年3月31日（火）
開館日の9時から20時までの2時間以内（通常のプラネタリウム投映時間を除く）
- 対象／中学生以上（1人又は1グループ限定）
- 申込方法／申込書に必要事項を記入し、メール、FAX、郵便、海事記念館へ持込（申請書はホームページからダウンロードまたは海事記念館窓口で配布）
※申請締切後、1週間程度で審査・選考を行い、結果を連絡します。
- 入館料／免除
- 禁止事項／飲食、喫煙、営利目的で物販行為を行うこと
- その他／プラネタリウムの操作や星座の解説、要望に対するコーディネート支援などは海事記念館が行います。

北海道命名150年記念事業を開催しました

蝦夷地から北海道に命名されて150年が経つことを記念し、11月23日（土）から1月27日（日）にかけて、北海道命名150年記念特別展「江戸から明治へ～厚岸の激動の時代にタイムスリップ!!～」を開催しました。

江戸時代、北海道の名付け親としても有名な松浦武四郎をはじめ、最上徳内や近藤重蔵など、多くの歴史的な偉人が厚岸を訪れました。今回の特別展では、江戸時代から明治時代に移る時代の転換期に注目し、これら偉人の業績や武四郎が見た厚岸の様子、それを今に伝える明治期の建物の模型や写真をとおして、当時の厚岸を紹介しました。

会場には、武四郎が書き記した『納紗布日誌』に登場する「誠信」の額（国指定重要文化財）など、普段、見るできない資料も展示し、床には武四郎が1859年（安政6）に出版した「東西蝦夷山川地理取調図」（拡大複製）を広げ、武四郎が記録したアイヌ語地名に親しんでもらいました。

また、期間中の1月19日（土）には、釧路短期大学教授佐藤宥紹氏を講師に、「東蝦夷地中枢の空間、その表と裏～武四郎のアクセシ観～」と題して講演会を開催しました。講演では、武四郎が書き記した『納紗布日誌』などを題材に、東蝦夷地における厚岸の重要性やアイヌ民族の人口減少について紹介し、小学生を含む33人が参加しました。



その先の、道へ。北海道
Hokkaido, Expanding Horizons.



初心者にも解読できる「はじめての古文書教室」

北海道立文書館と共催で「古文書教室」を開催します。講座では、古文書を読むのがはじめての参加者のために、初心者にも分かりやすく古文書の読解方法を学べるほか、町内の古文書を使用して実際に解読を行います。



日時	2月9日（土）13：00～16：10
会場	本の森厚岸情報館 2階会議室
内容	1) 13：00～14：30 「はじめての古文書」 講師 北海道立文書館 山田 正 氏
	2) 14：40～16：10 「正行寺本堂再建事情—移築にあたって—」 講師 海事記念館 熊崎 農夫博 氏
申込	2月7日（木）まで（先着30人）
参加料	無料
その他	筆記用具持参 道民カレッジ連携講座 （ほっかいどう学コース3単位が取得できます）

■本紙掲載の事業・記事についての問い合わせは、
海事記念館（TEL/Fax0153-52-4040） までお願いいたします。